

COVID-19ワクチンの概観



臨床試験の結果、利用可能なすべてのワクチンはCOVID-19の予防に極めて高い効果を発揮することが明らかになりました。いくつかの相違点に関する詳細は、以下をご確認ください。

	Johnson & Johnson	Pfizer - BioNTech	Moderna
接種は何回必要ですか？	1回	2回（3週間の間隔を空ける） 3回 抵抗力の低い方の場合（最後の接種は2回目の接種から少なくとも4週間経過してから行う）	2回（4週間の間隔を空ける）
完全に予防効果が得られるのはいつでしょうか？	接種から2週間後	2回目の投与から2週間後	2回目の投与から2週間後
このワクチン接種を受けるには、何歳に達している必要がありますか？	18歳以上	5歳以上	18歳以上
このワクチンは、臨床試験においてどのような有効性がありましたか？	あらゆる疾患に対する 74% の予防効果 重症疾患に対する 85% の予防効果 入院加療および死亡に対する 100% の予防効果	あらゆる疾患に対する 95% の予防効果 死亡に対する 100% の予防効果	あらゆる疾患に対する 94% の予防効果 死亡に対する 100% の予防効果

ワクチンの有効性について知っておくべきこと

有効性（Efficacy）とは、臨床試験においてどの程度病気の予防効果があるかを示す尺度です。臨床試験はさまざまな時と場所で行われたため、有効性の数値は現実には比較できません。個々の試験での結果のみを示しています。**有効性（Effectiveness）**とは、現実世界においてどの程度病気の予防効果があるかを示す尺度です。私たちは、常にワクチンの有効性についての情報を待っている状態です。

ワクチンの種類	<p>アデノウイルス（ウイルスベクター） このワクチンはさまざまなウイルス（風邪ウイルス）の安全な型を使用しており、COVID-19と闘う抗体の生成方法に関する防御の指令を体へ送る役割を果たしています。ワクチン接種により風邪をひいたり、COVID-19に感染したりすることはありません。</p>	<p>Pfizer および Moderna は共に mRNA ワクチンです。 mRNAワクチンは細胞に対し、免疫反応を促すタンパク質の生成するよう指令します。万が一ウイルスと接触することになった場合、体は抗体を生成しCOVIDへの感染を予防します。ワクチンによってCOVID-19に感染することはありません。</p>
---------	--	---

	Johnson & Johnson	Pfizer - BioNTech	Moderna
いつブースター接種を受ければいいですか？	前回の接種から2ヶ月後	前回の接種から5ヶ月後	前回の接種から5ヶ月後
U.S. Food and Drug Administration (FDA) による認可状況	18歳以上に対する使用許可。	5歳～15歳に対する使用許可。 16歳以上に対する正式承認。	18歳以上に対する正式承認。
ワクチンの成分はどのようなものですか？	このワクチンには脂質、塩分、糖分のほか、アデノウイルスへの有効成分が含まれています。	このワクチンには脂質、塩分、糖分のほか、メッセンジャーRNA (mRNA)が含まれています。	このワクチンには脂質、塩分、糖分のほか、メッセンジャーRNA (mRNA)が含まれています。
このワクチンは変異株に対して予防効果はありますか？	これまでの研究では、現在認証されているワクチンが循環性の変異株にも有効であることが示されています。これらの変異株やその他の変異株について、科学者は今後も研究を続けていきます。		
試験の参加者は誰ですか？	<ul style="list-style-type: none"> 3.3% アジア系 9.5% アメリカ先住民またはアラスカ先住民 19.4% 黒人/アフリカ系アメリカ人 45% スペイン系/ラテン系 0.2% ハワイ先住民またはその他太平洋諸島系 5.6% 複数の人種 59% 白人 <p>全世界の41%の臨床試験への参加者には1つ以上の基礎疾患がありました。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 4% アジア系 0.6% アメリカ先住民またはアラスカ先住民 10% 黒人/アフリカ系アメリカ人 26% スペイン系/ラテン系 0.2% ハワイ先住民またはその他太平洋諸島系 3% 複数の人種 82% 白人 <p>全世界の46.2%の試験への参加者には1つの基礎疾患がありました。34.8%の参加者は肥満体でした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 5% アジア系 1% アメリカ先住民またはアラスカ先住民 10% 黒人/アフリカ系アメリカ人 20% スペイン系/ラテン系 0.2% ハワイ先住民またはその他太平洋諸島系 2.1% 「その他の血統」 79% 白人 <p>全世界の22%の試験への参加者は1つの高リスク疾患があり、4%の参加者には2つ以上の高リスク疾患がありました。</p>
副作用にはどのようなものがありますか？	倦怠感、熱、頭痛、注射部位の痛みなど、および、1日あるいは2日で治まる筋肉痛（筋肉または筋肉郡の痛み）の両方、またはいずれか一方。	悪寒、頭痛、痛み、倦怠感など、および、1日あるいは2日で治まる注射部位の赤みや腫れの両方、またはいずれか一方。	悪寒、頭痛、痛み、倦怠感など、および、1日あるいは2日で治まる注射部位の赤みや腫れの両方、またはいずれか一方。